

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立笹島中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒450-0002
名古屋市中村区名駅四丁目19番1号

E-mail : sasashima-j@nagoya-c.ed.jp

Website : _____

児童生徒数: 男子 47 名 女子 34 名 合計 81 名
 児童・生徒の年齢 12歳 ~ 14歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

「地域の文化遺産を用いた郷土学習」と「国際理解に関する学習」に取り組んだ。

○地域の文化遺産を用いた郷土学習

ア お囃子体験

6月には、総合的な学習の時間に、二福神車（にふくじんしゃ）、紅葉狩車（もみじがりしゃ）、唐子車（からこしゃ）という3つの山車保存会の方々を招き、お祭りの時に演奏されるお囃子の体験を全校で行った。

イ 山車・からくり人形見学会

10月には、地域の祭礼に向けて飾り付けがされた山車を見ながら、保存会の方に、山車やからくり人形について話を聞く会を行った。山車やからくり人形のしくみや歴史、また、伝統を守ろうとする気持ちや困難さについて聞くことができた。

○国際理解に関する学習

ア 国際教育交流会

交流会に向けて「日本の伝統的な遊び」「地域の特徴」などを「どのように留学生の方に伝え、楽しんでもらうか」を課題に、生徒たち一人一人が取り組んだ。昨年度の交流会では、中国、韓国、インドネシア、ナイジェリア、ベトナム出身の留学生の方を招き、交流会を行った。

イ 世界一大きな授業

参加型の学習形式で行い、4つのアクティビティに取り組んだ。「世界の教育の現状について知るためのクイズ」、「世界の非識字者の現状を知り、文字が読めないことを疑似体験するゲーム」、「現状を変えるために行動する子どもたちのエッセイを読む活動」、「世界の子どもが学校に通えるためのランキングと政策提言シートの作成」を行った。

○実践の成果

地域の文化遺産を用いた学習では、文化財として残る山車の構造を学習し、お囃子を体験したり、地域の方から山車を後世に伝える努力やその思いを聞かせていただいたりすることによって、地域や郷土に誇りをもち、郷土を愛する心が高まったように感じられた。また、国際理解に関する学習では、外国の方々との交流を通して、様々な文化をもつ人々が共生していくためには、コミュニケーション能力を高めることが大切であると気付く生徒が多く見られた。また、世界で起きている多くの問題について、その現状を知ることで、自分たちから何か行動を起こさなければという考えをもつ生徒が多く見られるようになった。

○今後の課題

地域の伝統文化の学習を通して、生徒は、地域で伝わるこの伝統を守っていくためには、「多くの人に知ってもらわなければならない」と考えるようになった。現在は、保存会の方から伝えていただく活動を行っているのみであるため、今後は学習した内容を基にして、外部へ発信していく学習についても検討していかなければならないと感じた。また、国際理解に関する学習については、世界で起こっている問題について、「なんとか解決しなければならない」とは考えることができるようになったものの、何か自分から行動を起こすというまでには至っていない。問題解決のために自分に何ができるのか考えさせ、行動させる学習について、今後は探っていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）